

猪の瀬戸の自然景観

猪の瀬戸の自然景観は、この地域特有の水環境と地形、地質をはじめ、気候、水質などの自然現象に支えられた植物群落や植物、動物などの生物環境によって形成されています。



周囲を火山や高原に囲まれた盆地状の猪の瀬戸湿原



湿原内の陸所に見られる滲出水の水たまり

水環境が支えている湿原

猪の瀬戸の自然景観を代表する湿地植物群落や植物の生命は、恵まれた条件のもとでの水環境にかかっており、雨水による表面流入水と周辺部からしみでてくる水によって涵養されています。

自
景

草原は森林へと移り変っている



南平台山麓から望む猪の瀬戸湿原

猪の瀬戸は、湿原と周囲の草原や森林の部分が地形や水環境と相まってそれぞれに特徴的な自然環境をつくりあげています。

湿地や草原には、ヨシ、ススキの群落やヤナギ、ツクシやブウツギの群落など若い自然林が見られます。

自然の推移の中で蓄積されていくさまざまな自然の姿が創りだされています。

雨水と異なる湿原水

湿原内には3つの水系があり、それぞれ溪流や水たまりをつくっています。水質は硫酸イオンとカルシウムイオンの比率が高く、雨水と異なる水の供給が多いことがうかがわれます。これは周辺の森林が降雨を地下水に変えていく働きをしていると考えられます。



水口山の水源地域

若い森林に囲まれた猪の瀬戸一帯



谷に発達する若い森のミズキ群落

猪の瀬戸一帯には、森林をつくるたくさんの植物が生えていますが、いずれも由布・鶴見火山地帯に、これから育ちゆく森の姿が図に描いたように分布しています。

標高の高いところにツクシヤブウツギ群落、山腹尾根にシデ群落やコナラ群落、谷にはミズキ群落などの若い森林が見られます。

森や水をすみかに暮らす動物たち

猪の瀬戸湿原の水系には多くの水生動物が生息し、水のきれいさを証明しています。陸生貝類は樹林の落葉をすみかにし、昆虫は食草とかかわりあって生活しています。クモ類や爬虫類も環境に適応した暮らしをしており、草原や自然林では野鳥がさえずり、哺乳類は猪の瀬戸一帯を生活圏、行動圏としてすんでいます。



動物相の豊富な日向岳と猪の瀬戸湿原

然
観

沿道に広がる湿原の景観



沿道に広がる湿原植物の穂波

猪の瀬戸の湿原には、ヨシやオギ、ジャヤナギなどが群落をつくっています。また、高原や湿原のやや高いところにはススキ群落があります。それらの春の芽生え、秋の穂波は道行く人の目を楽しませてくれます。